読書が人の心を育む

ボランティアによる読み聞かせ

こども読み聞かせ会　「読み聞かせの会ポケット」が毎月第2・4土曜日に開催しています。絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、パネルシアターやエプロンシアター、手遊びなども交え、参加者も一緒に歌える楽しい「おはなし会」を開いています。会が始まると、元気な子どもたちの声が聞こえてきます。

おひざにだっこのおはなし広場　「お話の会ラ・ポム」が毎月第3水曜日に開催しています。乳幼児と保護者向けに、絵本の読み聞かせや本の紹介を行っています。読み聞かせだけではなく、手遊び、わらべうたなどで、親子の触れ合いが生まれています。

今月の読み聞かせ会は、17ページに掲載しています。

1子どもたちを絵本の世界に引き込みます　2お母さんのおひざの上で楽しい本の時間　3毎年本市でイラスト展を開く有我さん。有我さんのイラストから水野仙子の作品に興味を持った人もいました　4水野仙子は本市出身の明治・大正期の作家。代表作は「娘」「徒労」など

素敵な本との出会いを

水野仙子没後100年イラスト展

昨年11月、本市出身でイラストレーター・漫画家の有我すずなさんが描いた、水野仙子作品をモチーフにしたイラスト展を開催しました。また、講演会も行い、水野仙子と作品に思いを巡らせました。

福袋でサプライズ

クリスマスやお正月のイベント企画として、タイトルが見えないように本を袋の中に入れ、内容を紹介したポップを付けた「本の福袋」のコーナーを設置しました。袋の中身が分からないワクワク感があり、多くの利用者が福袋を手に取り、借りていました。

福袋の中にはどんな本が？

本の魅力を伝えたい
本と人をつなげたい

読書は、子どもたちの豊かな心を育みます。図書館では、ボランティアの皆さんと共に、子どもたちに読書の楽しみを伝えています。

また、図書館が皆さんにとって本との出会いの場になるよう、様々なイベントを行っています。

親子ふれあいブックスタート

「3・4カ月乳幼児健診」を受診する赤ちゃんと保護者に、絵本と触れ合うきっかけとなるよう、絵本2冊やおすすめの絵本リストなどが入ったブックスタートパックを、メッセージを添えてプレゼントしています。乳幼児期からの本との出会いの大切さを伝えています。

上：「だるまさんが…」本との出会いがスタート　下：本年度はこの3冊の中から2冊をプレゼント

子どもたちに本の楽しさを

昭和56年に、視覚障がい者を対象とした対面朗読のためのボランティアを始めました。その後、子どものための読み聞かせボランティアとして「読み聞かせの会ポケット」を結成し、中央図書館を中心に読み聞かせ会を開いています。

子どもたちと一緒に、私たち自身も楽しむことを大切に活動しています。季節感などに合わせ、読み手が気に入っている本を紹介しています。読み聞かせ会後に、紹介した本を借りてもらえたときは、すごく嬉しいですね。今後も子どもたちに本の楽しさを伝えていきたいです。

読み手それぞれに、特徴や話し方に味わいがありますので、読み聞かせ会に参加して、本の楽しさを感じてみてください。

読み聞かせの会ポケット
会長　大原千恵さん

ビブリオバトル初開催

発表者がお薦め本の魅力を紹介し、参加者が「一番読みたい本はどれか」を投票で決定するビブリオバトルを昨年12月に開きました。白熱したバトルに会場は盛り上がり、まだ見ぬ本との出会いに読書意欲をかき立てられました。

続きは図書館で

読書は言葉を学び、知性や感性を磨き、表現力・創造力を高めます。人生をより深く生きる力を身に付けるための大切な活動です。

図書館は今後も、子どもから大人まで、いつでも・どこでも・だれもが等しく読書に親しむことができるよう環境づくりを行い、地域と共に歩んでいきます。

心を彩る本との出会いを、図書館で探してみませんか？

ビブリオバトル会場の様子。残り時間1分となり、説明もクライマックスを迎えます

図書館プレゼンツ
「耳で楽しむ朗読の部屋」

外出を自粛している皆さんに、ウルトラFMと連携して絵本や物語などの読み聞かせを放送しています。絵本や物語を目ではなく耳で楽しんでみませんか？

放送日時
月～金曜日
▶午前9時15分～
▶午後2時30分～

放送内容
▶「おはなしのろうそく」
▶「新平と須賀川」　など

ULTRAFM
周波数は86.8MHz